

事務事業名		除雪事業		所属部	建設部	所属課	業務管理課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉		所属G	維持管理G	課長名	菅田 雅人
	施策名	〈07〉道路網の整備		担当者名	昌子 真二	電話番号	0854-40-1061
	目的対象	生活道路(市道・一般県道)の利用者	意図	市内を安全で迅速に移動できるようにする。		(内線)	3731
	基本事業名	〈019〉道路の補修・維持管理		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	除雪総務管理事業	
目的対象	生活道路	意図	適正に維持管理する。		014001	中事業	除雪総務管理事業
					103001	中事業	除雪総務管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
①観測所積雪量が15cmに達したとき、交通状況、気象情報等を配慮し、各総合センター長が除雪開始の判断をし、委託業者等へ作業指示の発動。②委託業者等による除雪作業の実施とセンターへの実施報告。③作業実績の確認と委託料の支払い。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
ア	除雪出動日数(6町計)	日	184	115	31	70
イ						
ウ						
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
	生活道路(除雪対象路線)	ア	除雪対象路線延長	km	705	705	705	705
		イ	人口【国勢調査(推計)】	人	41,917	41,159	40,548	40,440
		ウ						
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)		
生活道路機能の維持管理を図る。	ア	除雪対象路線延長	km	705.0	705.0	705.0	705.0	
	イ	積雪15cm以上での実施率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	
	ウ	生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	57.1	55.7	56.9	56.9	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)		② コストの推移		単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
除雪委託料	37,937千円	事業費	国庫支出金	千円	30,500	14,109	15,182	14,000
機械借上げ料	9,799千円		県支出金	千円	8,596	7,228	3,683	2,188
修繕費	10,044千円		地方債	千円		4,300		
賃金	830千円		その他	千円				
その他	8,786千円	一般財源	千円	120,684	98,924	48,531	57,809	
合計	67,396千円	事業費計(A)	千円	159,780	124,561	67,396	73,997	
		人件費	正規職員従事人数	人	27	27	25	
			延べ業務時間	時間	1,977	1,977	1,450	
			人件費計(B)	千円	7,687	7,793	5,681	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	167,467	132,354	73,077		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
近年は建設業者の減少や縮小により、除雪機械やオペレーターが減少している。それに伴い、業者保有機械の維持管理費についても委託費や損料補助など見直しを実施している。今後は市保有機械やオペレーター確保について検討が必要である。	・合併前、各町村で異なっていた除雪実施基準を島根県除雪基準をもとに統一した。 ・H20年度から、業者保有機械確保のために、維持管理費の損料補助を開始した。今後は県に準じて補助等を実施する必要がある。	・委託業者からは、除雪機械やオペレーター確保の困難性について相談がある。 ・議会からは、除雪機械、オペレーター確保、除雪区分の調整など提言を受けている。 ・市民からは、通勤、通学のため、早期除雪の実施や歩道除雪などの要望がある。

事務事業名	除雪事業	所属部	建設部	所属課	業務管理課
-------	------	-----	-----	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があると理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合⇒
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合⇒
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合⇒
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 センター間をまたがる路線境界付近の除雪について、センター間調整により、作業効率の向上を図ることができる。豪雪時には、機械、オペレーター等、センター間の支援強力により成果の向上を図ることができる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 事業を廃止した場合、安全な道路網の確保が困難となる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある	* ある場合⇒ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名)
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない		理由 統廃合できる該当事業がない。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 成果達成には、有資格、熟練したオペレーターによる機械除雪が必要となる。作業の安全面からも専門のオペレーター以外での実施は難しい。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 除雪作業は、殆んど業務委託されており、正規職員の作業実施は無い。逆に業者撤退に伴い、直営負担が強まる傾向にある。また、作業実施決定及び作業発注部門は直営がふさわしい。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 6センターが、雲南市除雪対象路線基準に沿って選定した通学路、生活主要道路等に対し、新雪15cm等の均等な基準に基づき作業実施を図っており、公平性が保たれている。
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成24年度は、積雪が少なく除雪日数が少なかったため余り問題は発生しなかった。今後は、センター間をまたがる路線境界付近の除雪、作業効率の向上、センター間の除雪支援強力など各センターと調整を図りたい。しかし、業者数、除雪機械、オペレーターの減少など課題は多い。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上		●																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<b>方向性</b> ・センター間をまたがる路線境界付近の除雪について、センター間調整により、作業効率の向上を目指す。豪雪時には、機械、オペレーター等、センター間の支援強力により成果の向上を目指す。 ・業者数の減少や縮小により、業者借上げ機械台数の減少が見込まれる。これらの対処として、業者保有機械に対する維持管理費への助成や、雲南市所有機械台数の増を進める必要がある。 ・平成24年度繰越・平成25年度に除雪機械の新規購入、更新を実施する。 ・オペレーターについては、委託業者以外でも確保できないか検討していく。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																							